

入院診療計画書(急性薬物中毒)

ID番号

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME

様

生年月日

@PATIENTBIRTH3

性別

@PATIENTSEXN

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

病名（他に考える病名）

急性薬物中毒

症状

担当医師

@USERNAME

印

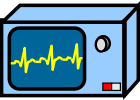
担当看護師

担当薬剤師

担当栄養師

その他担当者

@SYSDATE

月日	病日1日目（入院当日）～病日2日目（ / ~ / ）	～退院日（ ~ / ）
経過	中毒症状の影響で眠気や吐き気が強い事が予測されます 安心安全に治療が受けられるよう支援します 	意識が回復し、中毒症状から回復出来る
目標	呼吸、血圧が安定している 	退院出来る
検査	・治療に必要な検査（CT、レントゲン、血液検査、尿検査）を行います	・検査結果や状態をみて、必要な検査を行います（血液検査など）
治療 処置 薬剤	・心電図モニターと、血中の酸素化を測るモニターを装着します ・24時間続けて点滴をします ・状態に応じて ☐ 酸素吸入をします ☐ 鼻から管を入れて、胃の中を洗います ☐ 尿管を入れます	・水分や食事摂取が可能であれば、点滴が終了になります ・状態に応じて ☐ 酸素吸入を中止します ☐ 鼻の管を抜きます ☐ 尿管を抜きます ☐ 心電図モニターと血中の酸素化を測るモニターを外します
内服	・飲んでしまったお薬の内容によっては、拮抗薬や下剤を内服します ・持参薬を確認します（入院中は、持参薬の内服は中止です）	・入院中、必要なお薬を処方します
観察	・血圧、脈拍、体温を測定します ・飲んだ薬の量や種類による症状の出現や経時的変化を観察します。気になる症状はいつでもご相談ください	
食事	・目が覚めるまでは、食事はできません ・状態に応じて、水分のみ摂取可能か判断します 	・医師の指示により、食事が開始になります
行動	・ベットで安静です ・ふらつきがなければ、トイレへ歩いて行くことができます 	・症状の程度に合わせて、ベットを離れて動くことができます 
説明	・医師から飲んだ薬による副作用の説明があります ・看護師から入院の説明を行います ・目が覚めたら、心身医療科医師の診察があります ・心配や不安なこと、気分が落ち着かないときは、いつでもお知らせ下さい	・医師から 検査の結果を含めた、退院についての説明があります また、退院後の治療の必要性について説明があります

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。
注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性	有	・	無
-------------	---	---	---

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----